

# 令和5年度2月補正予算案（第9号）について

## 1 概要

国の経済対策のための補正予算を活用した国土強靱化対策のほか、早急に対応すべきものについて措置し、総額**105億円**を計上する。

### (1) 補正内容

- ・ 防災・減災、国土強靱化対策等（公共事業） 8,074百万円
  - ・ その他喫緊の課題への対応 4,588百万円
  - ・ 減額補正 ▲2,121百万円
- ※ 減額により生じた財源は、2月補正予算（第9号）に計上する経済対策及び令和6年度当初予算に計上するエネルギー価格・物価高騰対策に活用

### (2) 主な補正項目

- ① 公共事業 8,074百万円  
(注) 企業会計の補正(69百万円)と合わせると8,143百万円
  - ・ 国土強靱化対策 63億円  
道路施設の改良・長寿命化対策、海岸浸食対策、ため池の整備、地すべり対策、林道の改良など
  - ・ TPP対策、その他 18億円  
農地の大区画化、造林事業、道路の交通安全対策など
- ② 物産観光館の改修 688百万円
  - ・ デジタル田園都市国家構想交付金(国補正)を活用し、老朽化が進む物産観光館の改修工事を実施
- ③ 新興感染症への対応力強化 165百万円
  - ・ 県と協定を締結する医療機関における感染症対策に必要な施設・設備整備を支援
- ④ 保育士の確保促進 103百万円
  - ・ 保育士修学資金の貸付原資を増額
- ⑤ ICT活用教育の推進 452百万円
  - ・ 市町村立学校や特別支援学校(義務教育)での生徒一人一台端末の更新に要する経費を支援(県に基金を造成)

⑥ 臨時財政対策債償還基金費の積立 1, 899百万円

- ・ 国補正により、臨時財政対策債の元利償還金の一部を償還するための財源（地方交付税）が措置されたため、減債基金に積立て

### (3) 繰越明許費の設定

公共事業などに係る令和5年度から令和6年度への繰越  
限度額の設定

- ・ 今回補正額 8, 017百万円

【参考】繰越明許費累計額 58, 259百万円

### (4) 債務負担行為の設定

公共事業などに係る債務負担行為の設定 927百万円

- ・ 企業局が実施する安来市切川地区工業用地造成事業に必要な各種調査に係る事業中止時の最大の費用負担（一般会計） 471百万円

※ 債務負担行為とは、地方公共団体が翌年度以降に債務を負担することについて、その原因となる事項、期間及び限度額を予算の内容として定めておくもの

## 2 令和5年度一般会計歳入歳出予算

11月補正後予算額	(a)	5, 310億円
<b>2月補正予算額（第9号）</b>	<b>(b)</b>	<b>105億円</b>
補正後予算額	(a)+(b)	5, 416億円

\*対前年度同期比 96.3%

【参考】令和4年度2月補正（2月13日提案分）後予算額 5,624億円

(注) 計数については、それぞれ四捨五入によっているため、合計と一致しないものがある。

## 3 財源

(1) 国庫支出金	35億円
(2) 県債	49億円
(3) 地方交付税	19億円
(4) 繰越金	1億円
(5) その他の歳入	1億円
合計	105億円